様式第４号

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 30 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	埋立施設管理事業			コード	81116
２ 担当部課	部等	市民環境部	課等	環境課	作成者 黒渕　浩人

３ 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち	
		政　策	循環型社会の構築	施　策 廃棄物対策の推進
	予算科目	埋立施設管理費	業務委託	一部委託
	実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
	設置条例	岡谷市廃棄物処理及び清掃に関する条例		

●事業の内容（DO）

４ 施設の概要・設置目的

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

施設の概要（簡潔に）		樋沢最終処分場において、焼却灰及び不燃物の埋立処理を行う。また、埋立地より発生する浸出水について、国の基準に適合した適正で安全な処理を行う。
目的	対象者	市民
	意　図	快適で安全な生活環境を確保するため

５ 施設の管理運営状況

指定管理者	なし	28年度指定管理料	円
施設における通常業務	・業者委託による浸出水の適正な処理等、埋立施設の管理を行った。 ・平成12年度から28年度末までの17年間の埋立量は54,300m³となった。 ※計画容量（61,100m³）の88.9%		
事業の実施内容	（28年度に施設で行った運営事業・自主事業など） ・埋立容量の拡張のため、築堤工事を実施した。工事費：5,054,400円 ・埋立ごみの適正処理と施設の延命に努め、平成28年度は924ﾄﾝの埋立処理を行った。 ・浸出水は放流時の排出基準をｸﾘｱできるよう適正な処理を行い、放流水として公共下水道へ放流している。放流水のﾀﾞｲｵｷｼﾝ測定値は、基準値10pgに対し、0.00066pgであった。		
前年度の課題への対応	埋立容量の拡張のため、築堤工事を実施した。工事費：5,054,400円		

６ 施設の利用状況

＊①は貸館施設のみ対象　＊②・③はどちらかの欄に記入　＊

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 施設稼働率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
年間開設日数（日）				
１日の開設時間（時間）				
年間利用可能時間（時間）	0	0	0	0
年間利用実績（時間）				
② 年間利用者数（人）	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	0	0	#NAME?	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ １日あたり利用者数、件数	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度(予算)
① 直接事業費		15,978,446	18,287,203	23,450,210	17,070,000
	経常経費	14,305,407	16,666,723	16,666,723	16,074,000
	臨時的経費	1,673,039	1,620,480	6,783,487	996,000
	＊臨時的経費の説明	＊埋立施設の修繕及び改修工事に係る経費、最終処分場整備工事			

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度(予算)
② 人件費		800,000	1,600,000	1,600,000	2,400,000
	正規職員の人数（人）	0.10	0.20	0.20	0.30
③ 合計コスト（①＋②）		16,778,446	19,887,203	25,050,210	19,470,000
	前年度比		118.5%	126.0%	77.7%
	財源内訳　一般財源	8,027,506	13,052,923	17,193,680	17,637,000
	財源内訳　特定財源	8,750,940	6,834,280	7,856,530	1,833,000
	＊特定財源の説明	＊一般廃棄物処理手数料等、廃棄物処理施設整備事業債			
④ 施設使用料年間収入額		0	0	0	0
⑤ 年間減免措置額		0	0	0	0
⑥ 受益者負担割合		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト		#DIV/0!	#DIV/0!	#NAME?	
	前年度比		#DIV/0!	#NAME?	
⑧ コストに関する補足説明					

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　#DIV/0!**

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。　１日あたり利用者数、件数　前年度比　#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑤ 施設使用料収入が増加した。　施設使用料年間収入額　前年度比　#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること） ・引き続き業者委託により施設管理を継続していくこととなるが、費用について検証が必要。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） ・委託業者との調整を図る。
改善開始時期	平成29年6月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B

13 大規模修繕の予定

予定事業費	円	予定時期	
内容			